

議 事 要 旨 記 録 票

日 時	令和8年6月2日（火）10：00～12：00
場 所	日野市中央公民館 1階 講座室 A・B
会議件名	令和8年度第1回 社会教育委員の会議
主な議題	1. 公民館まつりの報告 2. 令和8年度アートフェスティバルについて 3. 東京都市町村社会教育委員連絡協議会の報告及び役員について 4. 令和8年度の重点事業について ①多様な学びの場構築広域連携事業～「ひのたまULTLAプログラム」の実施 多摩市と連携して、多摩地域の社会的資源を活かしながら学校へ通いづらい子どもたちと、地域活動を行う大人たちが交流できる探求学習の場を創る。 ②日野本町地区公共施設再編事業 令和7年度に策定された「日野本町地区公共施設再編基本計画」に基づき、再編に向けて社会教育機関としての重要な役割及び新たに発生する業務についての検討・調整を行う。 5. 第34期日野市社会教育委員について 社会教育委員と公民館運営審議会の統合に伴う任期延長について 6. その他 日野市まなびあい審議会について
参 加 者	須崎議長、小杉副議長、大瀧委員、田代委員、山本委員、清水委員、平委員、高橋委員、飯倉部長、関戸図書館長、大村館長、郷原副館長
配布資料	【資料1】 第34期日野市社会教育委員名簿 【資料2-1】 第39回公民館まつり 【資料2-2】 公民館まつりの意見 【資料3】 社会教育委員連絡協議会 議案書 【資料4】 ひのたま ULTLA2026_プログラム概要 【資料5】 日野市まなびあい審議会について
結 果	・各報告について了承 ・社会教育委員の会議としては、最後なので意見交換を兼ねて今後の課題を協議

主な内容	(1) 公民館まつりの報告 【大村館長報告】 Q: 学生は、どのようにエントリーしたら良いか? A: 12月には検討していただき、1月から申し出てもらえれば良い。 Q: 公民館まつり、新選組まつりと同時開催での賛否が分かれたとのことだが、同時開催についてのメリット・デメリット・感想は? 〈デメリット〉 ・たまたまテントの屋根の色がブルーと白だったので、新選組まつりの会場と勘違いされる。 ・来場者数が5千人台に対し新選組まつりが4万人、公民館まつりは、施設内で各サークルの展示をしているが、休憩所と勘違いされる。 ひの市民大学の方は、現に新選組の講座も実施しているので、リンクをアピールして一緒に盛り上がるような工夫の考えも持っているが、公民館の各サークルの方々は、作品を見てもらいたいという思いがあり、双方の思いが違っている。 〈メリット〉 ・土曜日にひの児童館まつりと一緒に開催したことで、地域のお祭りとして好評だった。 〈感想〉 ・各サークルは、自分たちの成果発表のみを見に来てもらいたいので、本来の狙いとズレてるのではないかといった思いがある。 (2) 令和8年度アートフェスティバルについて 【郷原報告】 ・10月24日(土)、10月25日(日)の2日間開催することが5月の実行委員会で決し、内容はこれから決めていくが、物価高騰によるリースや人件費等委託費を抑制するため、自分たちで出来るところはなるべく自分たちでやろうと整理を行っている旨報告。 (3) 市町村社会教育委員連絡協議会の報告及び役員について 【郷原報告】 ・4月18日に行われた令和8年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会の報告及び今年度副会長市で来年度が会長市となることから、この一年、来年度に向けての準備期間となる旨説明。具体的には、会長市である小平市の動きに注視し、来年度スムーズに活動できるよう、まなびあい審議会としてもアンテナを上げ、情報収集及び準備をしていく。 (4) 令和8年度の重点事業について
-------------	--

①多様な学びの場構築広域連携事業～「ひのたまULTLAプログラム」の実施【大村館長報告】

Q：7月実施は暑いけど大丈夫か？

A：熱中症にならないよう配慮し、適切な内容を検討中。

Q：参加は3日（回）か？

A：事業としては3日（週）設定しているが、その日の体調もあるので、柔軟に対応する。

②日野本町地区公共施設再編事業 【郷原報告】

・進捗として、アドバイザー業務について、公募型プロポーザルにて、業者が決まり、6月上旬に契約締結予定。令和11年度に公民館は解体するため、令和10年度中にローリング計画に沿って隣の中央福祉センターに一時引っ越すため、関係各課現在調整中である旨報告。

（5）第34期日野市社会教育委員について 【郷原報告】

- ・社会教育委員の会議と公民館運営審議会の統合に伴い、今回6月30日までの任期。日野市まなびあい審議会に統合されることで、今後の例規整備として各規則改正等を教育委員会第3回定例会に議案上程し、可決されれば施行となる旨説明。
- ・今後日野市まなびあい審議会となった際の予定を説明。

その他 日野市まなびあい審議会について

Q：条例が通った際の賛成と反対の意見は？

A：反対意見として、公民館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施につき調査審議する機関として設置している公運審を無くすことで、市の社会教育の場が無くなるといったことを懸念している意見があったが、そこについてはまなびあい審議会が引き継ぐことを前提としているので、心配はないと説明した。

賛成意見としては、生涯学習や社会教育の計画の立案と、実践の場である公民館の運営を一体で協議することで、より時勢を捉え現場感覚のある、生涯学習や社会教育の推進を図るもの等を説明した中で賛成をいただいた。

それぞれの意見は理解できる。これからのまなびあい審議会の在り方が問われている、と受け止めた。

意見：会議体を一つにまとめたのであれば、郷土資料館、図書館、公民館の連携をもう少し上げていかないと結果的にどうかなるか心配なので、しっかり連

携をしていきたい。生涯学習支援課として諮問していくこともできるので、ご意見をいただきながら我々も進めていかななくてはならない。

Q：開催スケジュールが年４回だと少ないのでは。

A：４回は令和８年度の最低回数であり、社会教育委員、公運審の目線での意見を出し合いながら年間で５回の開催を想定している。今後に検討すべき事項を精査し、第１回の会議で回数を決めていくことになる。

Q：当初、「社会教育委員はもっと外に出ていったほうが良い」といった声が出て盛り上がっていたが、新しい会議になったときに良いものは引き継いでいきたい。２つの会が統合されることで公民館、社会教育のそれぞれの成果を引き継いでいけるか。

A：各イベントの諸計画をしっかり受け止め、また近隣大学との交流も組み合わせうまく活動を行っていったらと考える。

意見：社会教育が衰退していくとか生涯学習に取って代わられると誤解されやすいが、学校教育、家庭教育、社会教育のすべてを網羅したのが生涯学習だと思っているので、改めて社会教育をアピールすることで、日野市民の学ぶ権利というものをもっと強く保証していけるものになるように改めて学んでいきたい。

意見：三者の研修会や交流会を緊密に連携したほうが良い（内容としては、公民館の歌や図書館のあらましなど）。それらを蓄え、教育委員会に意見が出せると良い。

意見：まなびあい審議会になった場合の役割として、教育委員会への意見や助言がどこまで言えるのか。

意見：東京都市町村社会教育委員連絡協議会の研修会にかつて、一般参加をやるかといった話もあった。市民への還元としての一般（市民）参加も一つのアピールとしてあっても良いのでは。

例）講師を呼んだ講習などに市民も一般参加できるようにする。

意見：この一年でまなびあい審議会がどう成長するかいろんな意見を出せればと考える。

意見：これからも個人で様々な活動に携わっていく中で、他の団体等の活動をあまり知らないのが、いろんな活動のPR等していくのが公民館等の社会教育施設に必要ではと考える。

意見：まなびあい審議会となることで、市民の声が中々通じないところもどこまで届くのかといった課題も整備していく必要がある。

意見：連携によって何ができるかといったところが勝負処である。可能な限り

	生涯学習支援課としても支援していく。
--	---------------------------

意見：まなびあい審議会が、今まで足りていなかった部分を築けたら良い。

意見：自分がまなびあい審議会の委員として残らなくても、市民として社会教育とつながっているなので、今後も一緒に協働していきたい。

意見：市民が会議を傍聴できる体制は継続する。